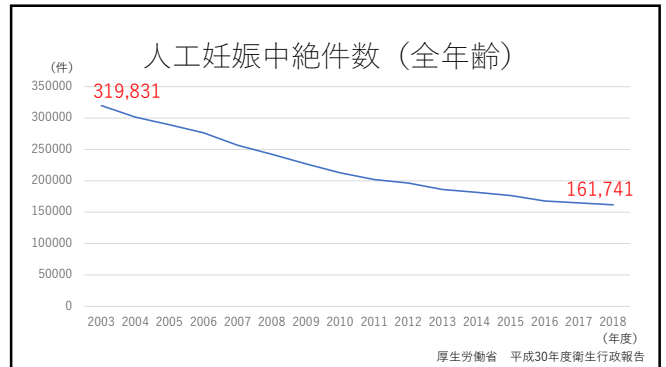


研修2. 予期せぬ妊娠に対する支援に関する研修  
講義 I

## 産婦人科の臨床から見えてくる 予期せぬ妊娠の背景と支援

東京女子医科大学産婦人科学講座  
水主川 純



### 妊娠の背景

- 希望した妊娠
- 予期せぬ妊娠
- 継続を希望しない妊娠
- 継続することが困難な妊娠
- 誰にも相談できない妊娠
- 妊娠中絶を選択できない状況に置かれた妊娠

妊娠に対する思いは時間とともに変化する可能性もある

### 人工妊娠中絶と感情

- 自己肯定の背後に自己否定の感情があり、葛藤を繰り返している
- 自己肯定
  - ✓学生なのでまだ子どもをうめない
  - ✓胎児はまだ人の形をしていない
- 自己否定
  - ✓私が全て悪い
  - ✓私は罪な女だ

```
graph TD; A[妊娠] --> B[人工妊娠中絶]; A --> C[分娩];
```

妊娠の継続について悩んでいる場合は、妊娠を継続した場合と継続しなかった場合に起こり得ることに関する情報が提供され、妊婦本人が意思決定をできるような支援が重要である

### 人工妊娠中絶施行後の対応における留意点

- 人工妊娠中絶施行後の心理
  - ✓ほっとした
  - ✓胎児への罪悪感
  - ✓次回妊娠に対する不安
  - ✓パートナーとの関係
- まずは本人の気持ちを確認する
  - ✓本人と親の気持ちが対立している場合は、中立な立場で対応することが重要である

### 子ども虐待による死亡事例等の 検証結果等について

- 0歳男児（実母からのネグレクトで死亡）
- ✓10代の実母が外出先で分娩し、遺体を放置した
- ✓実母は「赤ちゃんを助ける気持ちよりも誰にも知られたくない気持ちの方が強かった」と話した
- 0歳不明（実父母からのネグレクトで死亡）
- ✓実父母は若年カップル
- ✓実母が妊娠を誰にも相談できずに分娩し、遺体を遺棄した
- ✓児童相談所に実父母や周囲からの相談や情報共有はなかった

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会  
第15次報告

### 妊婦健康診査

- 母子保健法に基づき、全ての妊婦が妊婦健診を受診することが推奨されている
- 母体と胎児の健康状態を確認し、周産期異常の予防、早期発見・早期治療を目的とする
- 特にリスクがない妊婦は、妊娠初期から分娩までに14回程度の妊婦健診受診がすすめられている
- 医療従事者は妊婦が妊婦健康診査を受診することにより、妊婦との関わりを持つことが可能になる

### 子ども虐待による死亡事例等の 検証結果等について

- 心中以外の虐待死亡人数（第1次から第15次報告）：779人

死亡時点の子どもの年齢：0歳	373人 (47.9%)
主たる加害者：母親	429人 (55.1%)
死因となった主な虐待の類型	
身体的虐待	494人 (63.4%)
ネグレクト	220人 (28.2%)

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会  
第15次報告

### 妊婦健康診査未受診妊婦

- 妊婦健康診査を受診することがなく、陣痛発来や破水後に医療機関を受診する
- ✓救急医療体制への影響
- ✓分娩予定日不明
- ✓妊娠高血圧症候群、胎児発育不全などの周産期合併症不明
- ✓母子感染や医療従事者への感染リスク
- ✓新生児集中治療室への影響
- ✓医療費支払いや養育に関する問題

### 子ども虐待による死亡事例等の 検証結果等について

- 心中以外の虐待死亡人数（第3次から第15次報告）：704人

妊娠期・周産期の主な問題	
予期しない妊娠/計画していない妊娠	192人 (27.3%)
妊婦健康診査未受診	184人 (26.1%)
母子健康手帳未交付	143人 (20.3%)
10代妊娠	125人 (17.8%)

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会  
第15次報告

### 妊婦健康診査未受診の背景

- 妊婦健康診査未受診の背景は多様であり、妊婦は妊娠について周囲への相談や医療機関への受診が困難である
- ✓予期せぬ妊娠
- ✓経済的困窮
- ✓社会的孤立
- ✓Domestic violence (DV)



令和2年度 厚生労働省  
母子保健指導者養成研修  
研修2. 予期せぬ妊娠に対する支援に関する研修

妊娠に関する相談体制

- 予期せぬ妊娠したかもしれない（妊娠不安）
- 予期せぬ妊娠をした
- 妊娠に関する様々な相談窓口が設置されている
- ✓対面相談
- ✓電話相談
- ✓ソーシャルネットワークキングサービスを活用した相談
- 妊婦が妊娠に関する相談窓口を利用したことを確実な支援の契機にすることが重要である

妊娠相談ほっとライン（東京都）

相談の受付：電話またはメール



相談内容に応じた居住地の相談先の紹介

- 相談者自身による相談や医療機関受診が困難と判断された場合
- ✓産科医療機関受診の同行支援
- ✓同行支援を行った際の初回産科受診料の助成

東京都ホームページ

妊娠相談ほっとライン（東京都）

- 令和2年1月6日から妊娠に関する相談に看護師などの専門職が応じる事業が行われている



東京都ホームページ

予期せぬ妊娠の支援

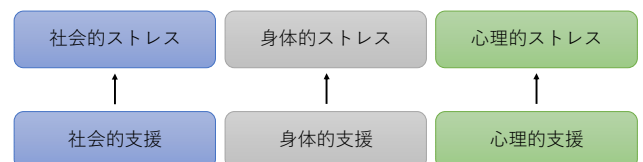


妊娠相談ほっとライン（東京都）

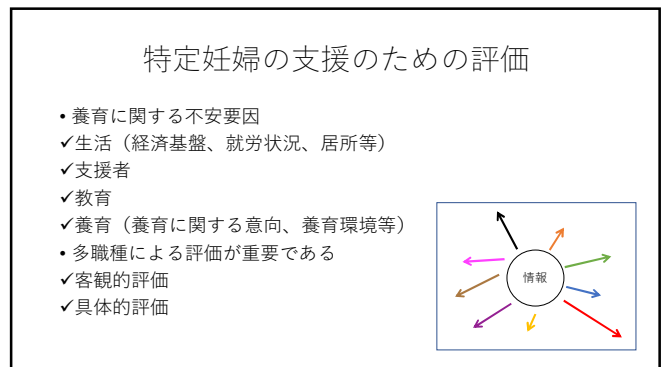
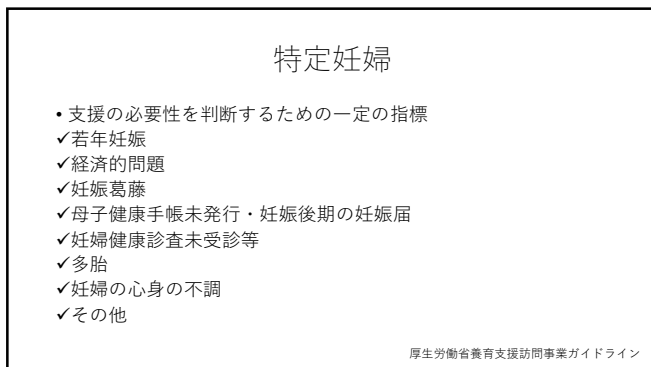
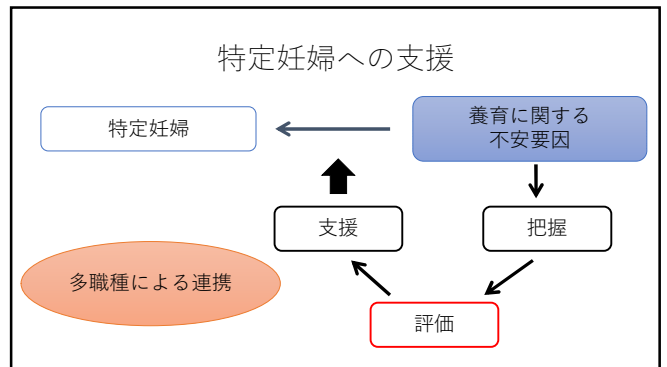
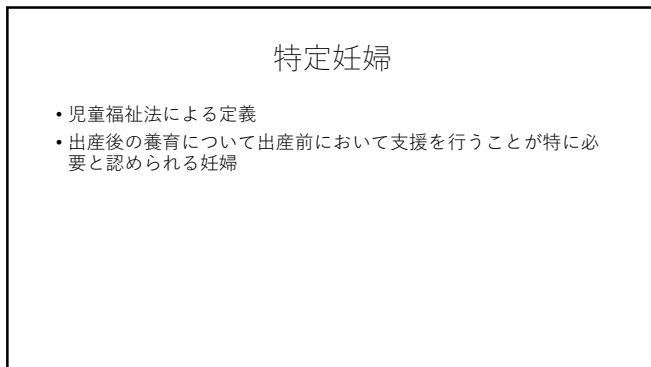
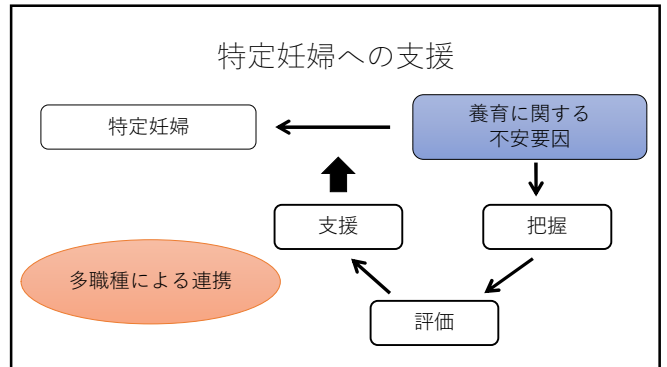
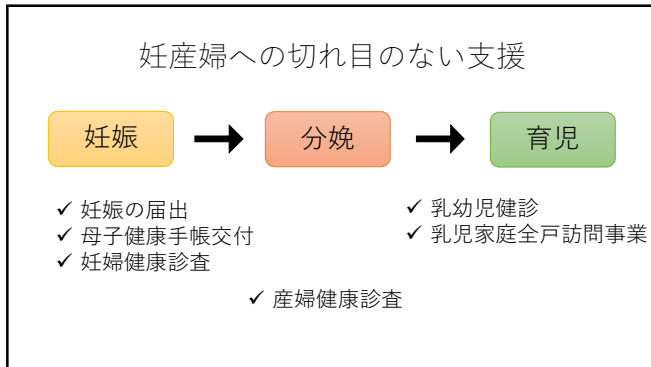
- ホームページで提供されている情報
- ✓緊急避妊法
- ✓妊娠検査薬
- ✓人工妊娠中絶
- ✓妊娠（妊娠届、妊婦健康診査、公費負担、歯科受診、妊娠中の就労等）

東京都ホームページ

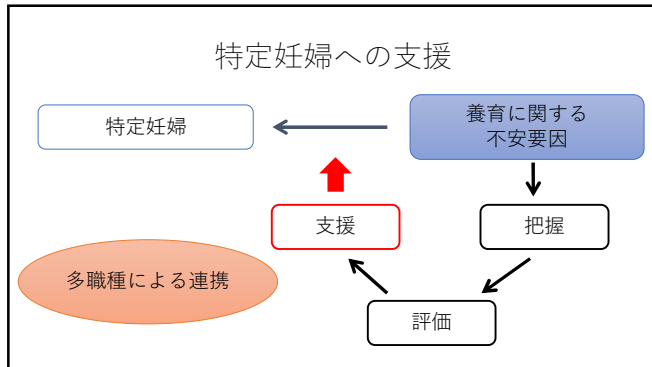
予期せぬ妊娠への支援



令和2年度 厚生労働省  
母子保健指導者養成研修  
研修2. 予期せぬ妊娠に対する支援に関する研修



令和2年度 厚生労働省  
母子保健指導者養成研修  
研修2. 予期せぬ妊娠に対する支援に関する研修



若年妊娠と学業

妊娠した生徒に係る在籍状況

	全日制	定時制
産前産後*以外の妊娠期・育児期以外の休学	42人	146人
転学	153人	25人
懲戒退学	0人	0人
退学を勧めた結果として「自主退学」	21人	11人
真に本人（又は保護者）の意思に基づいて自主退学	371人	271人

(\*: 概ね出産の前後6～8週間程度)

公立の高等学校（全日制及び定時制）における妊娠を理由とした退学に係る実態把握  
文部科学省（平成30年）

- 特定妊婦の支援
- 母子保健
  - ✓ 母や子どもの心身の健康の維持
  - 生活支援
  - ✓ 経済的困窮の回避
  - 就労支援
  - 教育支援
  - 養育支援
  - ✓ 孤立化回避、子ども虐待予防

- 特定妊婦への支援
- 支援に関する情報提供
  - ✓ 正確性
  - ✓ 有用性
  - ✓ 具体性
  - 特定妊婦とその支援者が支援の過程で良好な信頼関係を築くことができず、支援が困難になる状況になる可能性がある
  - このような状況を回避するための対策を講じ、特定妊婦への支援が継続される体制の確保に努めることが重要である

- 若年妊娠と学業
- 公立の高等学校において妊娠の事実を学校が把握した生徒数（平成27年4月～平成29年3月）
  - ✓ 全日制：1,006人
  - ✓ 定時制：1,092人
- 公立の高等学校（全日制及び定時制）における妊娠を理由とした退学に係る実態把握  
文部科学省（平成30年）

- 特定妊婦への支援
- 支援に関する情報提供
  - ✓ 正確性
  - ✓ 有用性
  - ✓ 具体性
  - 特定妊婦とその支援者が支援の過程で良好な信頼関係を築くことができず、支援が困難になる状況になる可能性がある
  - このような状況を回避するための対策を講じ、特定妊婦への支援が継続される体制の確保に努めることが重要である

### 子ども虐待による死亡事例等の 検証結果等について

- 0歳女児（実母からのネグレクトで死亡）
- ✓ 日中、約5時間にわたって車内に放置し、子どもが熱中症にて死亡した
- ✓ 実母はパチンコをしていた
- ✓ 特定妊婦からの関わりであったが、分娩後の養育は安定していた

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会  
第15次報告

### 新型コロナウイルス感染症

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大は、社会全体に大きな影響を与えている
- ✓ 社会活動の抑制・停止：移動制限、密集回避、外出控え等
- ✓ 休業・自粛：社会・経済基盤への影響
- ✓ 家庭内生活の変化：在宅勤務や休校等に伴うストレス
- 家庭内で潜在化していたDVや虐待の顕在化が指摘されている
- ✓ DV被害者への特別定額給付金支給
- 社会情勢に合わせた支援が重要であろう

### 子ども虐待による死亡事例等の 検証結果等について

- 0歳女児（実母からとの心中）
- ✓ 出産後、実母が保健センターへの電話相談で不眠と育児負担を訴えた
- ✓ 保健師は実母の精神科受診を促し、家庭訪問を拒否されていた
- ✓ 育児教室への母子の参加を確認したものの翌月母子での心中を図った

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会  
第15次報告

### 新型コロナウイルス感染症

- COVID-19の感染拡大の影響は妊産婦にも及んでいる
- ✓ 妊娠中の集団保健指導の中止
- ✓ 帰省分娩の差し控え
- ✓ 立会い分娩の中止
- ✓ 入院中の面会禁止
- ✓ COVID-19のスクリーニング検査

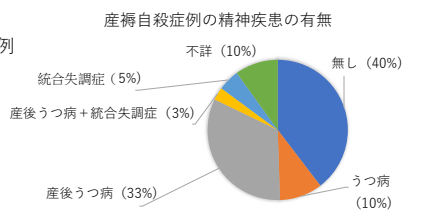
社会的ストレス

身体的ストレス

心理的ストレス

### 産後うつ病と自殺

- 2005年から10年間に東京都23区で発生した妊産婦の自殺
- ✓ 妊娠中：23例
- ✓ 産褥1年未満：40例



### まとめ

- 妊娠・分娩は人生の大きなライフイベントである
- 妊婦に関わる医療従事者と関係機関の職員が連携を図り、それぞれの妊婦の背景だけでなく、社会情勢を考慮しながら、切れ目のない支援が行われる体制が構築されることが望まれる